

コーディネーター通信 No.1

平成30年5月30日
新潟市立内野中学校
地域教育コーディネーター
玉木園子 山岸則子 木竜吉子

晴天に恵まれて ー内野三川リバーサイドウォーク 5/13ー



延々と続く人の列は圧巻の景色



保護者・地域の方も出発式を見守って。



佐藤正人さんの太鼓の合図で、さあ出発。

事前学習で学んだ事を胸に、三つの川をめぐり、25kmを完歩しました。保護者、地域合わせて80名近い方が生徒と一緒にそれぞれ自分に合ったコースを歩きました。1年生も途中、仲間と励ましあいながら、初めての長距離を無事歩き通しました。

すごく疲れているのに、皆で盛り上がる話をして、笑って最後まで行けてよかった。

友だちが、疲れたり足が痛くなったときに、ペースを合わせてくれたり励ましてくれた。

あともう少しだから、頑張ろうと大人に励まされた。

地域の人が優しく接してくれた。自然が豊かだった。米をたくさん作ってた。

生徒の感想より

最後まで一緒に歩ききることができた。目標の2時は達成できなかったけれど、励まし合いながら歩いた。

地域の人が優しい。自然がたくさんある。昔ながらの建物がたくさんある。

おじいさん、おばあさんが話しかけてくれて、やさしい、フレンドリーと感じた。



事前講演会 5/8

事前講習会では、「歩いて楽しい内野の魅力」と題して、内野まち歩きガイドの会の太田さんから内野地域の地形のヒミツや成り立ちをわかりやすく解説していただきました。

「内野三川ウォーキング講座」では、篠田塾の篠田先生(元新潟大学教授)から、長距離を歩く時の身支度や疲れにくい歩き方など具体的に教えていただきました。

ボランティアさんの活動はじまりました!

ボランティア交流会 4/25

年度初めのボランティア交流会は、今年度の学校の教育方針やボランティアの心構えを再確認するなど大切な会です。先生方や普段会うことの少ないボランティアさん同士も交流できました。



数学や英語の授業補助



学校支援ボランティアさんからうれしいエピソードももらいました。

—生徒が考えたヒントの言葉—

文字式・因数分解の問題に取り組んで悩んでいた生徒がいました。近くに、その問題をすでに解決済みの生徒がいたので、その生徒に「未解決の子に何かヒントを与えてください」と言ったら、「入れ替える。」という言葉でアドバイスを始めました。

とてもうまいヒントの言葉だと思いました。生徒の発したヒントのこの言葉に感動しました。

ボランティアさんとのこんなやりとりが、あちらこちらの教室で行われているようです。

図書貸出カード作成



細かい作業でしたが、黙々と進めてくれてあっという間に完了しました。

4月からの各健診補助

身体計測から始まり、内科健診補助等、6月までの各種健診でお世話になります。



心臓定期健診
先生と事前にしっかり
打ち合わせ



耳鼻科健診
生徒が運んでくる器具を
片付けます。

お話会 始動 5/25



静まり返った教室からお話会の皆さんの声だけが聞こえてきました。どのクラスも一生懸命聞き入っている生徒の姿が見られました。ボランティアの皆さんは先生方、生徒の皆さんが暖かく丁寧に迎えてくれたことに感動していました。勇気をもらったそうです。

放課後学習教室



定期テストに向けて、解らないところは、今のうちにクリアして。